

広島原爆遺跡など 9件を史跡指定に

文化審答申、近く告示

連の史跡指定は原爆ドーム、長崎原爆遺跡に続き3件目となる。

広島原爆遺跡は、爆心地近くの旧燃料会館（現・平和記念公園レストハウス）や、壁に窓ガラスの破片が突き刺さった痕が残る旧日本銀行広島支店、被害の一報を別の部隊に伝えたと思われる旧中国軍管区司令部防空作戦室など。いずれも爆心地から2キロ以内にある。史跡になると、保存や活用のための整備に国の補助金を活用できる。

十五郎穴横穴群は、7、9世紀に墓として使われた274基の横穴がある。江戸時代から昭和初期までの酒蔵が残る西条酒蔵群（広島県東広島市）も指定される。文化庁によると、酒蔵の史跡指定は初めて。

申通り告示される。原爆関

また長崎原爆遺跡（長崎

市）の史跡範囲に、被爆樹木のある山王神社境内などが追加される。

断崖と階段状の岩石海岸が特徴のサンニヌ台（沖縄県与那国町）を名勝と天然記念物の両方に指定するなど、名勝2件、天然記念物2件の指定も答申。農業用に人工的に造られた落門の滝（大分県竹田市）など4件が登録記念物となる。

告示後、史跡・名勝・天然記念物は計3364件、登録記念物は132件となる。